

令和8年度秋季講演会プログラム

開催日時 2026年11月19日（木）

（敬称略）

時 間	講 演 題 目	発 表 者（○印講演者）	司 会 者
10:00～10:05	開会の挨拶 （一社）日本高圧力技術協会 会長 吉川 暢宏（東京大学）		
特別セッション「災害に備える技術の高度化を目指して」			
10:05～10:30	① 自律飛行ドローン×生成AIを活用した災害 時点検システムの構築	○川瀬 充弘（大阪ガス株式会社）	弥富 政享 （(株) IHI）
10:30～10:55	② 石油タンクの地震時底板浮き上がり計算法 の高精度化に関する研究	○吉田 祐一（消防研究センター）	
10:55～11:40	—特別講演— ③ VR技術を活用した防災訓練の高度化と災害対応能力の向上 ～「想定外」を体験し、現場の判断力を鍛えるアプローチ～	○井面 仁志、高橋 亨輔（香川大学創造工学 部）	
11:40～12:05	④ 化学工場における損傷事例データベースの 高度活用について	○戒田 拓洋（住友化学株式会社）	嶋村 純二 （JFEスチール （株））
12:05～13:05	昼 食 休 憩		
13:05～13:50	—特別講演— ⑤ 瀬戸大橋の建設と保全	○藤田 太（本州四国連絡高速道路株式会社）	
13:50～14:15	⑥ 設備の老朽化／延命化対策工法事例 事故・災害につながる腐食を防食技術で補修・補強する	○井田 勝、木村 保久、藤井 謙二、湊 真明 （ハイテックジャパン株式会社）	
一般セッション			
14:15～14:40	⑦ 鋼材組織制御による疲労き裂進展特性の改善とUリブ鋼床版構造における性能評価	○松井 洋一郎、兵藤 義浩、ドアン ティー フィン、木津谷 茂樹、植田 圭治、田川 哲哉 （JFEスチール株式会社）	服部 伸彦 （東京ガス(株)）
14:40～15:05	⑧ アンモニアを用いた微少漏れ検査について	○落合 哲也（株式会社イチネンケミカルズ）	
15:05～15:15	休 憩		
15:15～15:40	⑨ 臨時専門委員会活動報告「タンク開放検査 の合理化に関する調査」	○伊藤 大輔（横浜国立大学）	
15:40～16:05	⑩ HPIS Z103 圧力機器の高温亀裂状欠陥評価 方法について —PVCS委員会維持規格分科会成 果報告	○伊藤 充洋（株式会社IHI）、他PVCS 委員会 維持規格分科会委員	中根 一起 （日立GEベルノバ ニュークリアエナ ジー(株)）
16:05～16:30	⑪ 東京ガスのLNG基地における災害に備えたレ ジリエンス強化の取り組み	○岸 拓海（東京ガス株式会社）	
16:30～16:55	⑫ 分割回し溶接による溶接継手の疲労強度向上 技術	○兵藤 義浩、カン ウンブン、上月 渉平、崎 本 隆洋、柚賀 正雄（JFEスチール株式会社）	
16:55～17:00	閉会の挨拶 （一社）日本高圧力技術協会 企画委員長 岡崎 慎司（横浜国立大学）		